
芦屋町総合計画 中学生アンケート調査

— 報告書 —

平成 27 年（2015 年）7 月
福岡県 芦屋町

～ 目 次 ～

I 調査計画	1
II 回答者の属性	3
1. 性別構成比（問1）	3
III 調査結果	4
【1】 芦屋町に対するイメージについて	4
1. 芦屋町に対する好意度（問3）	4
2. 芦屋町への永住意向（問4）	5
【2】 芦屋町の現状・課題について	6
1. 芦屋町の遊び場について（問5）	6
2. 訪問客への案内先（問6）	8
3. 町外の友人への紹介先（問7）	10
4. 芦屋町での暮らしに対する評価（問8）	12
【3】 ボランティア活動について	17
1. 参加したいボランティア活動（問10）	17
【4】 キーワードについて	18
1. まちづくりに大事だと思える言葉（キーワード）（問11）	18

I 調査計画

【調査目的】

芦屋町の中学校に在学している生徒における、町に対するイメージや思い、暮らしに対する評価などを把握し、今後の取り組みに資することを目的として実施した。

【調査対象】

芦屋町内の中学校に在学している生徒（2・3年生）

【調査方法】

学校を通じた配布・回収

【調査時期】

平成 27 年（2015 年）6 月

【回収結果】

回収数 ----- 270 件

◆居住地区別回収状況(上段:件数、下段:構成比)◆ (問2回答結果)

合計	芦屋小学校区	芦屋東小学校区	山鹿小学校区	無回答
270	68	67	125	10
100.0%	25.2%	24.8%	46.3%	3.7%

【報告書の見方について】

1. 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
2. 2つ以上の回答が可能な複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
3. 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数^{注1}（標本数^{注2}）である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数^{注3}を「n」で表記している。
4. 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性^{注4}等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計^{注5}する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
5. 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
6. この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

注1【基数】構成比(%)算出の基となる数値

注2【標本数】回収数のこと

注3【該当数】例えば、問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数(標本数)、あるいはクロス集計における各属性(「男性」や「30歳代」...)など、限定された回答者数

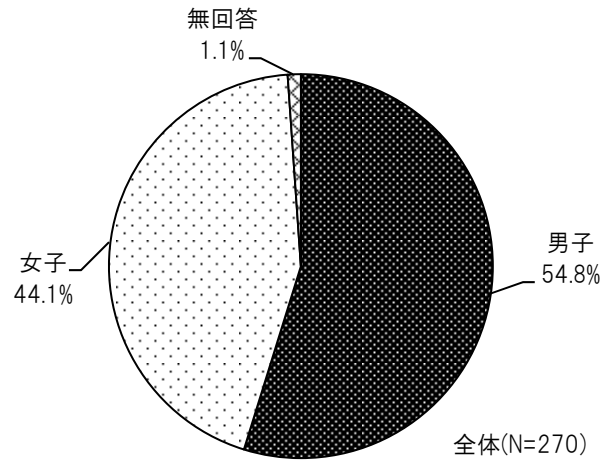
注4【属性】小学校区別や性別など、回答した対象者の特徴を把握する項目

注5【クロス集計】性別や年齢別など、対象者の属性で調査票を分類し、その分類ごとに質問に対する回答結果を集計する方法

Ⅱ 回答者の属性

1. 性別構成比（問1）

回答した生徒の性別構成比は、男子が 54.8%、女子が 44.1%と、やや男子の割合が高い構成となっている。



Ⅲ 調査結果

【1】 芦屋町に対するイメージについて

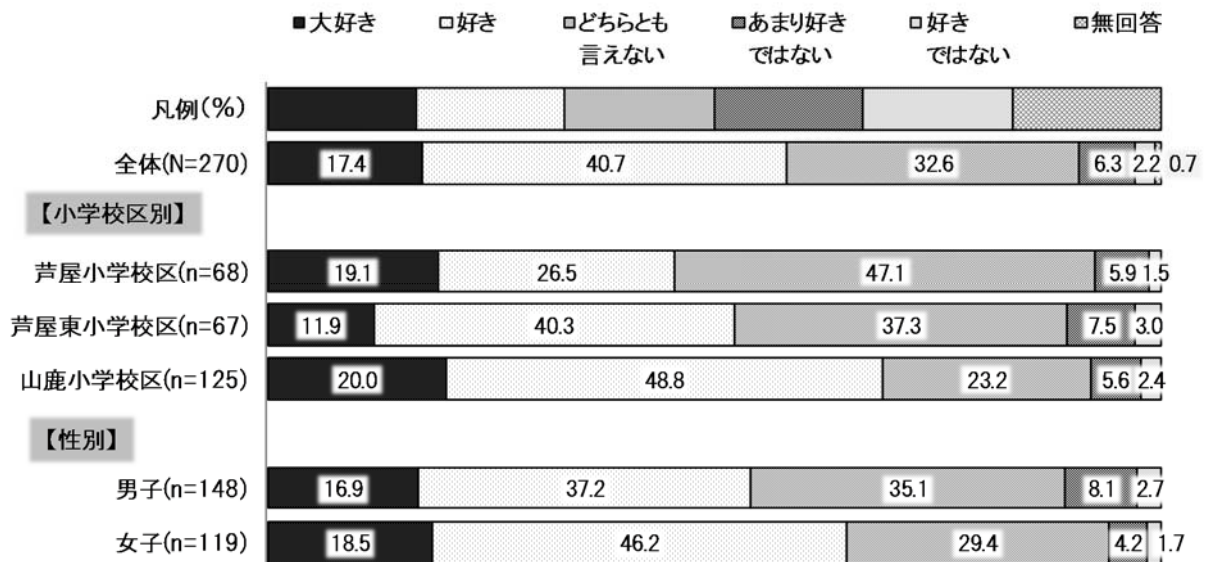
1. 芦屋町に対する好意度（問3）

問3 あなたは、芦屋町が好きですか？1つに○印をつけてください。

芦屋町に対する好意度は、「大好き」が17.4%、「好き」が40.7%で、合計58.1%と6割近くの生徒が『好意度』を示している。一方、「あまり好きではない」(6.3%)、「好きではない」(2.2%)を合わせた『非好意度』は8.5%であった。

小学校区別では『好意度』は、特に山鹿小学校区居住者で最も高く、芦屋小学校区居住者で相対的に低くなっている。

性別では、男子に比べ女子の『好意度』が高くなっている。



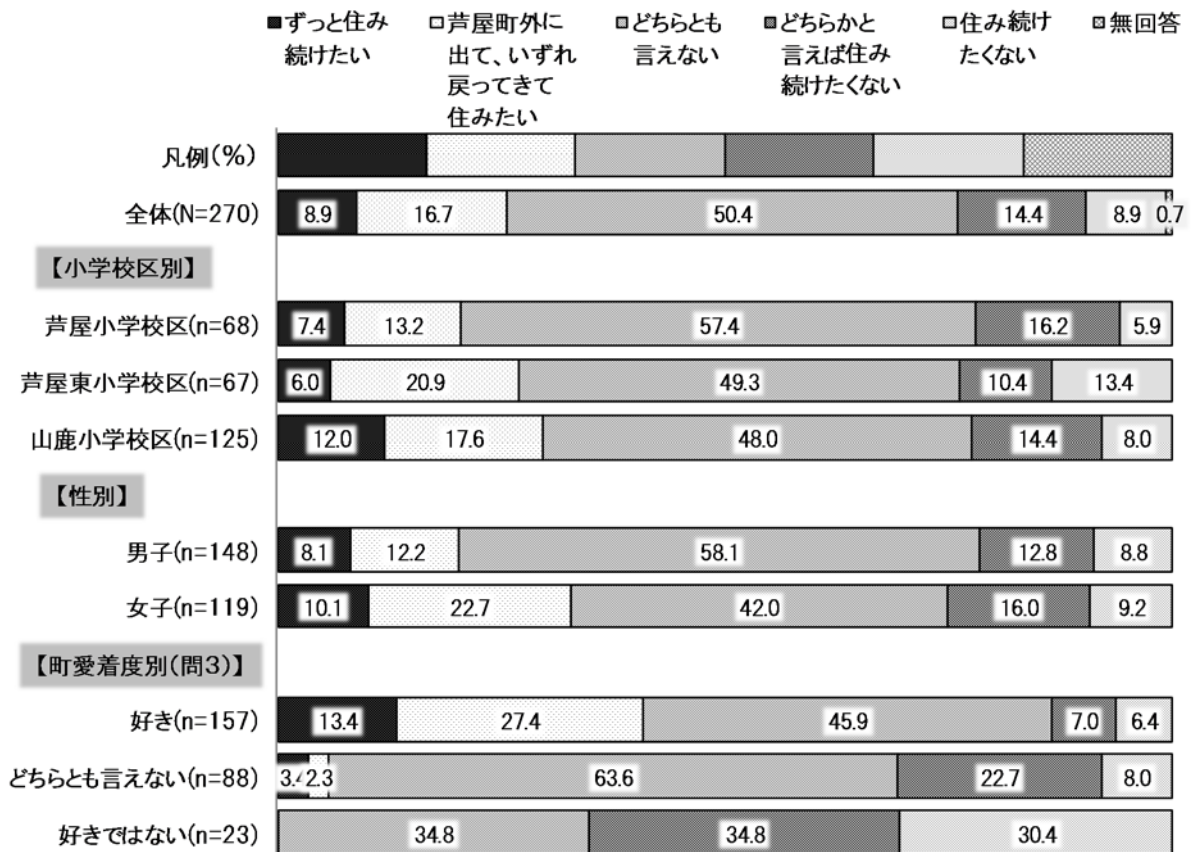
2. 芦屋町への永住意向（問4）

問4 あなたは、大人になっても芦屋町に住み続けたいですか？1つに○印をつけてください。

芦屋町への永住意向は、「ずっと住み続けたい」が8.9%、「芦屋町外に出て、いずれ戻ってきて住みたい」が16.7%で合計25.6%と、ほぼ4人に1人の生徒が『永住意向』を示している。

『永住意向』は、小学校区別では山鹿小学校区、性別では女子で高くなっている。

また、町愛着度別では、「好き」と回答した生徒ほど「ずっと住み続けたい」への回答も多くみられ、愛着度と永住意向に相関がみられる。

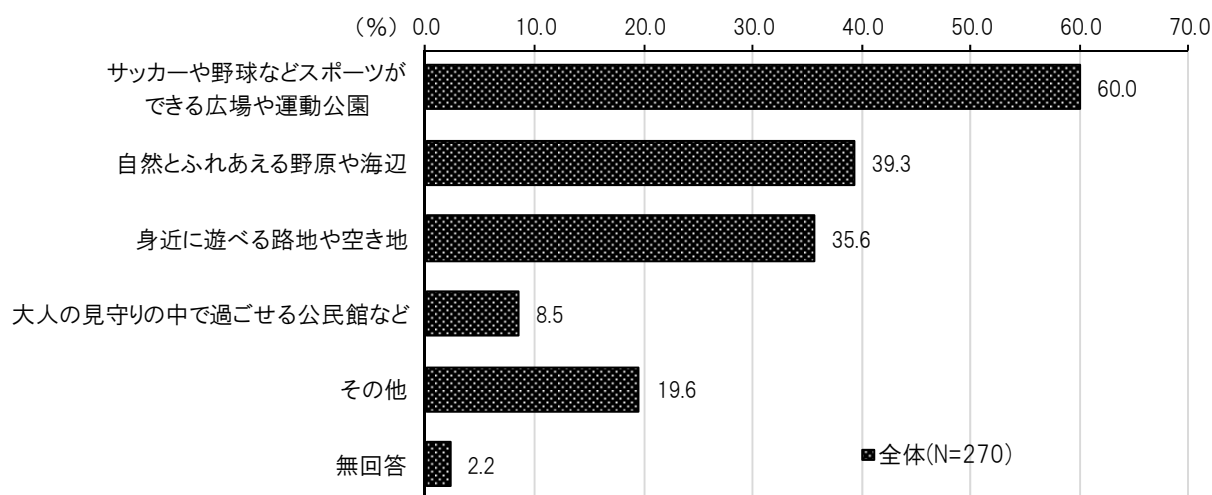


【2】 芦屋町の現状・課題について

1. 芦屋町の遊び場について（問5）

問5 あなたにとって、芦屋町にどのような遊び場があればもっと良いと思いますか？次の中からあてはまるもののうち、2つまで○印をつけてください。

芦屋町の遊び場については、「サッカーや野球などスポーツができる広場や運動公園」の割合が60.0%と最も高く、次いで「自然とふれあえる野原や海辺」（39.3%）、「身近に遊べる路地や空き地」（35.6%）の順となっている。

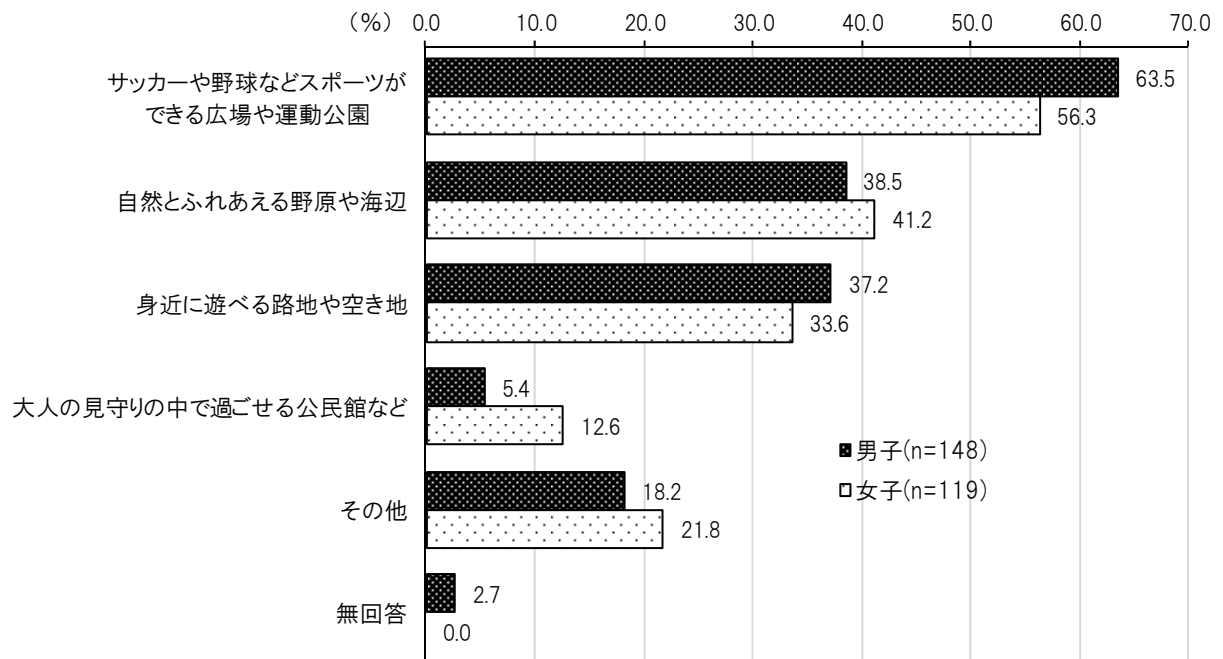


なお、「その他」への回答が2割近くみられるが、その回答内訳は次表のとおりである。

◆その他の内訳(抜粋)◆

- ・イオン（19件）
- ・ゲームセンター（8件）
- ・ショッピングモール（4件）
- ・総合体育館（2件）
- ・遊園地（2件）
- ・バスケットコート（1件）
- ・ペットと遊べる場所（1件）
- ・カラオケ、ボウリング場、映画館、外食できる場所（各1件）・・・など

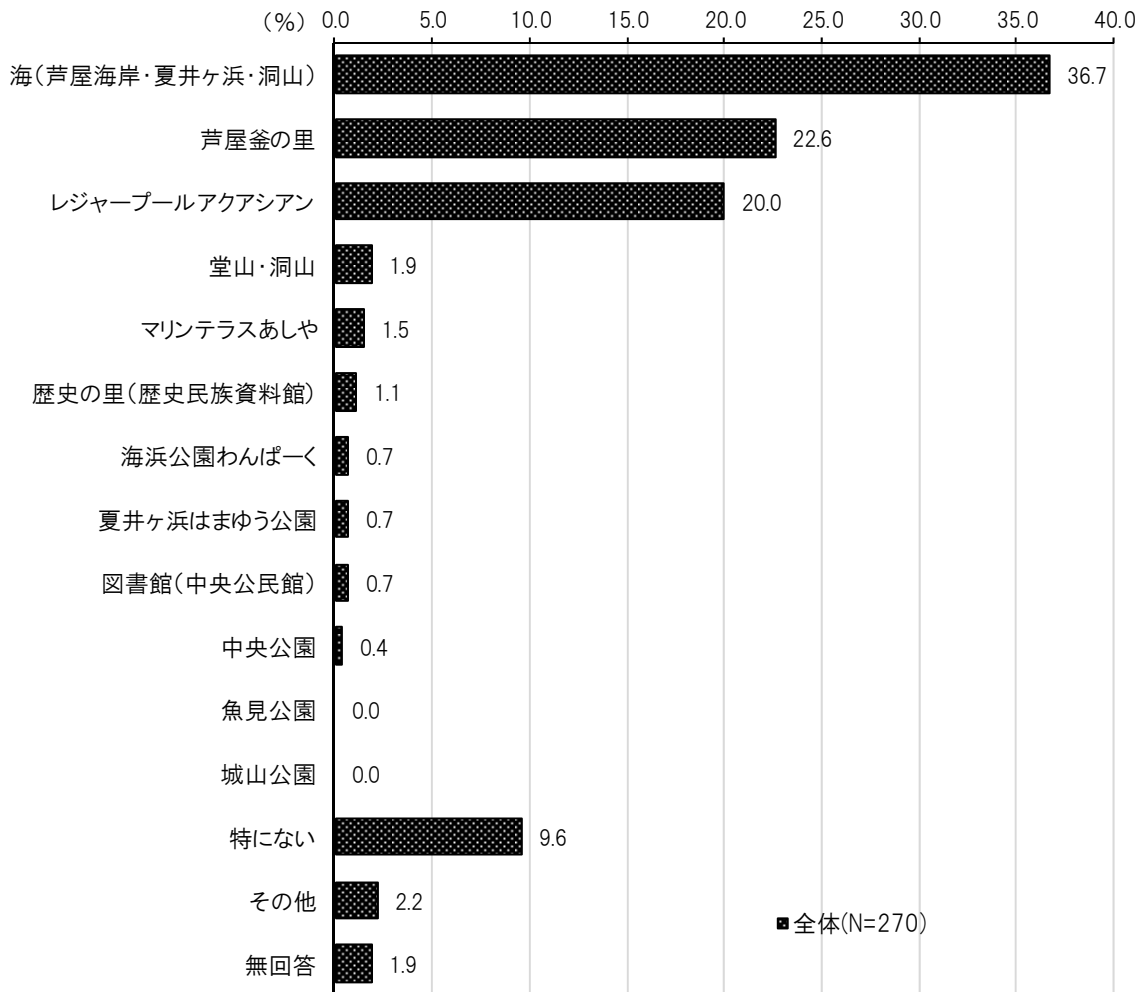
性別でみると、男子は女子に比べ「サッカーや野球などスポーツができる広場や運動公園」、女子は「大人の見守りの中で過ごせる公民館など」への回答がそれぞれ多くなっている。



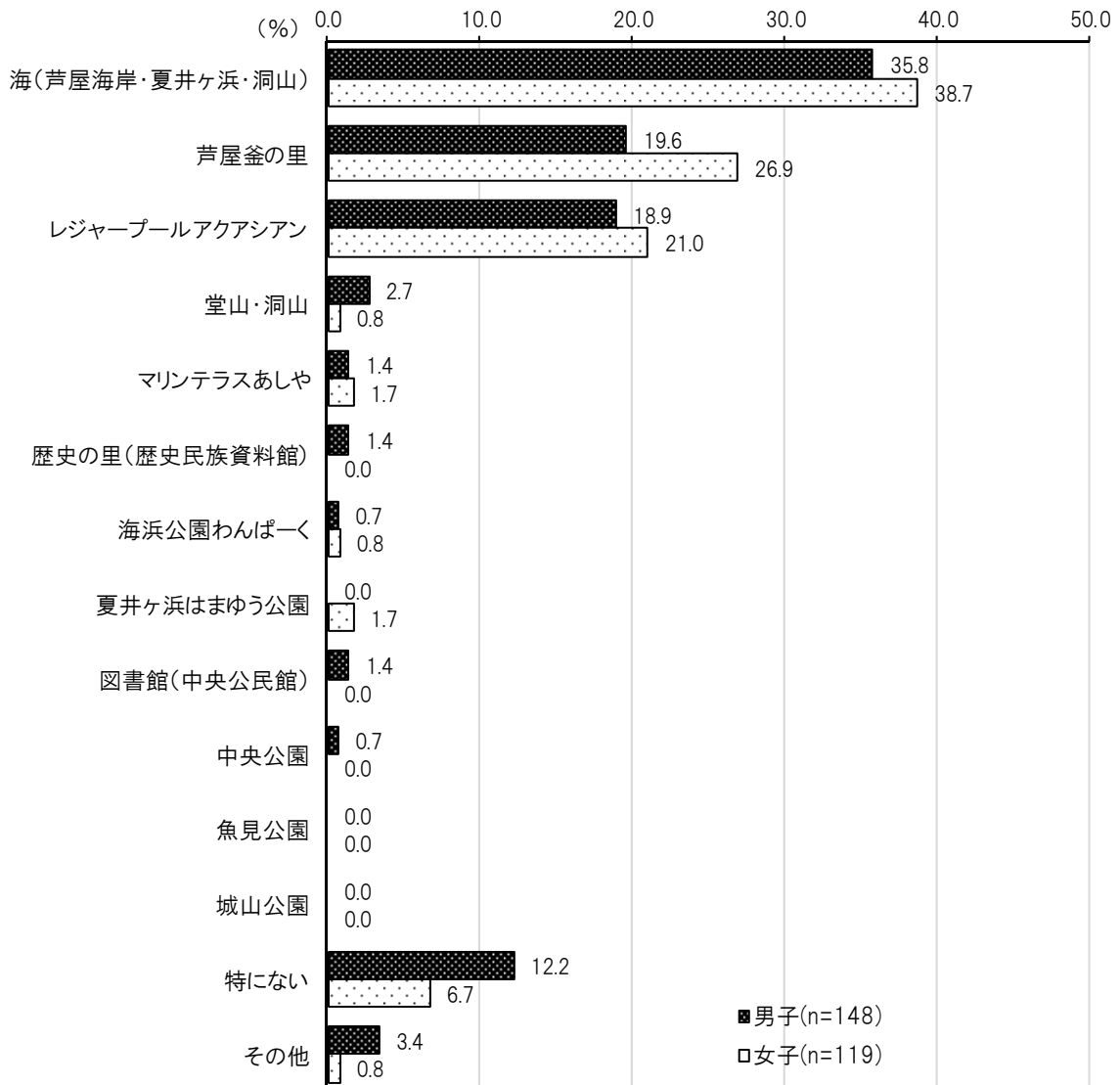
2. 訪問客への案内先（問6）

問6 初めて芦屋町を訪れた友人に、町内を案内することになりました。最初にどこへ連れて行きますか？1つに○印をつけてください。

訪問客への案内先は、「海（芦屋海岸・夏井ヶ浜・洞山）」の割合が36.7%と突出して最も高く、次いで「芦屋釜の里」（22.6%）、ほぼ並んで「レジャープールアクアシアン」（20.0%）の順となっており、この3つの他の案内先への回答割合は低い。



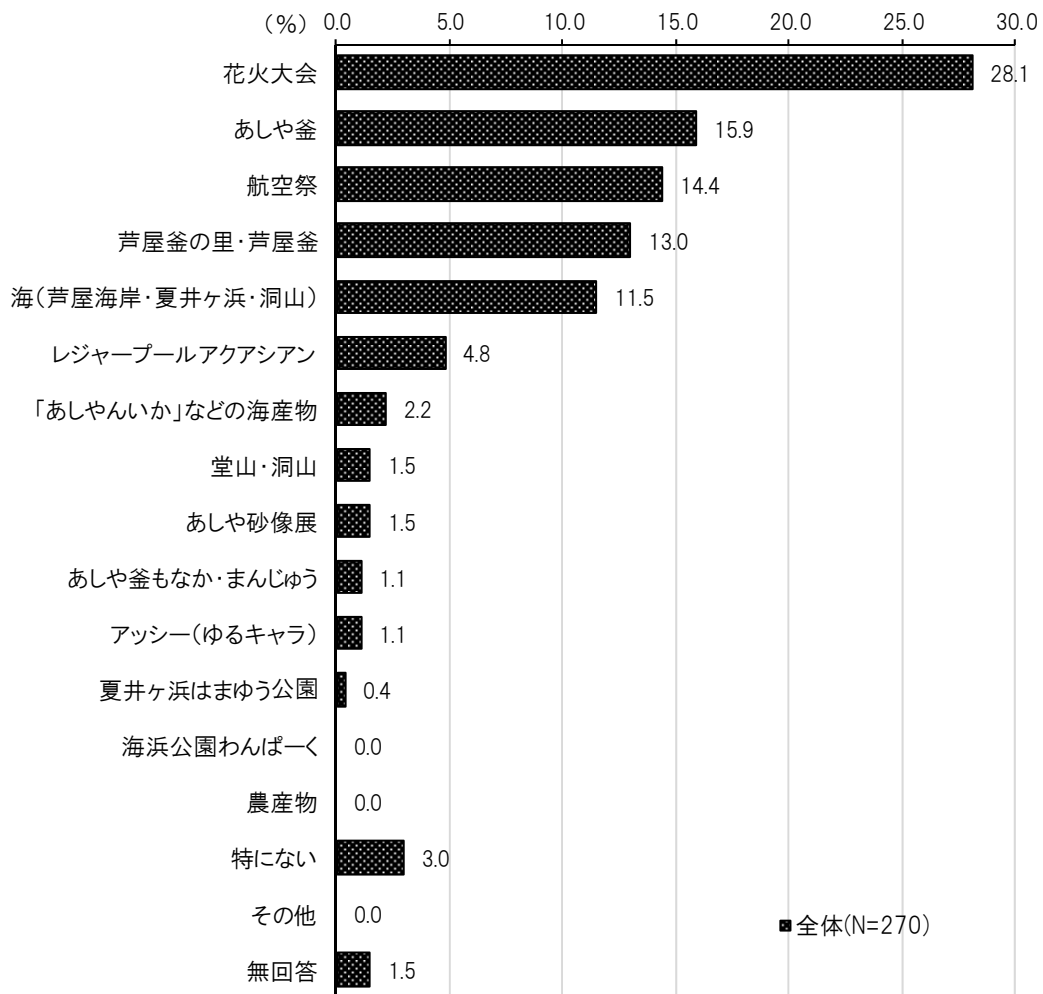
性別でみると、男子は女子に比べ「堂山・洞山」及び「特にない」への回答が多いが、女子の場合は、特に「芦屋釜の里」への回答が男子を大きく上回っている。



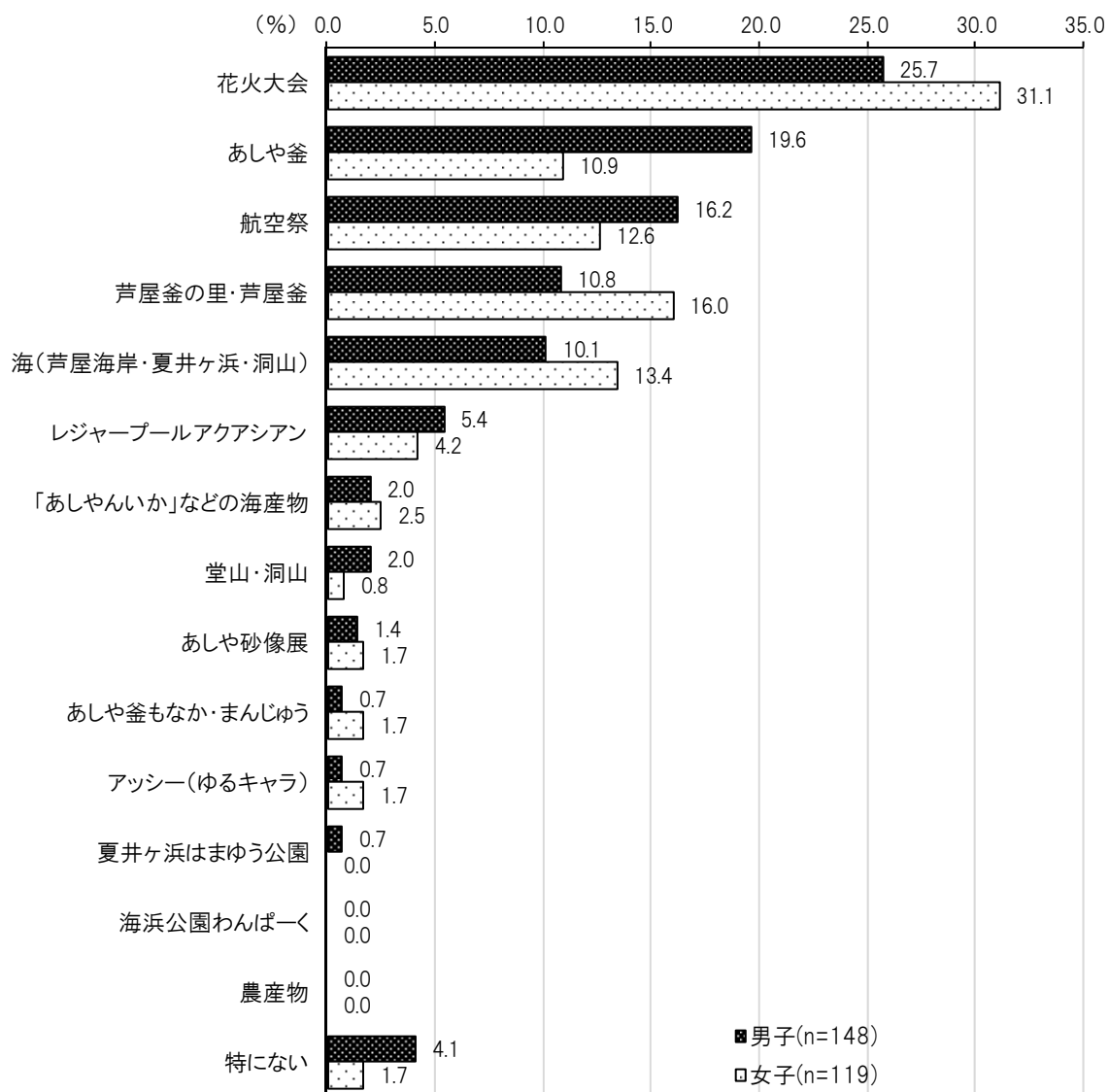
3. 町外の友人への紹介先（問7）

問7 町外の友人に、芦屋町の名所・名物を1つ紹介するとすれば、何を紹介しますか？1つに○印をつけてください。

町外の友人への紹介先は、「花火大会」の割合が28.1%と突出して最も高く、次いで「あしや釜」(15.9%)、「航空祭」(14.4%)、「芦屋釜の里・芦屋釜」(13.0%)、「海(芦屋海岸・夏井ヶ浜・洞山)」(11.5%)の順となっており、この他の紹介先への回答割合は低い。



性別でみると、男子は女子に比べ「あしや釜」及び「航空祭」への回答が多く、女子は、「花火大会」「芦屋釜の里・芦屋釜」「海（芦屋海岸・夏井ヶ浜・洞山）」への回答が男子を大きく上回っている。

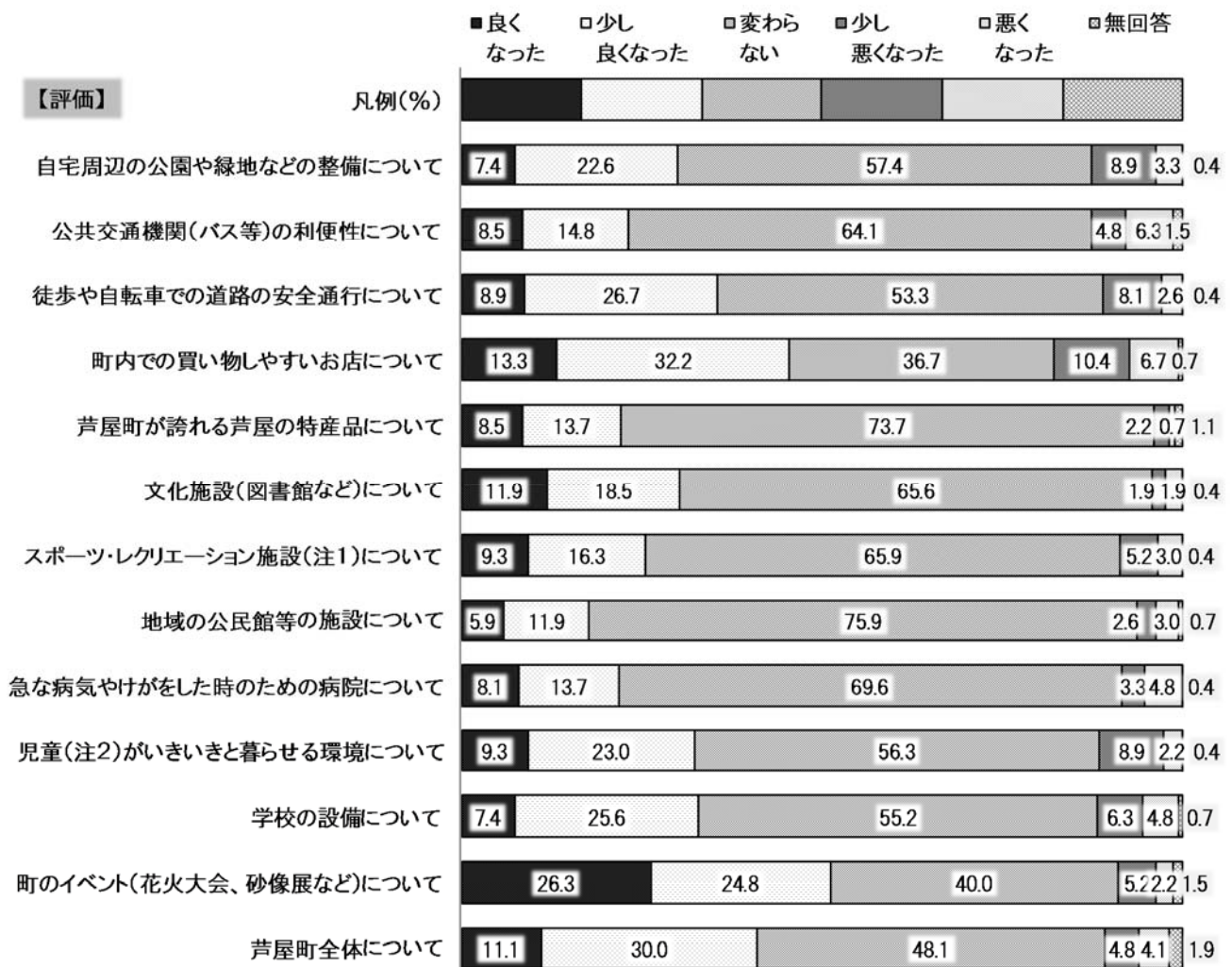


4. 芦屋町での暮らしに対する評価（問8）

問8 芦屋町での暮らしについて、あなたが感じる次の項目の「①評価」と、「②興味度」をおたずねします。それぞれの項目についてお答えください。

（1）評価

芦屋町での暮らしに対する評価について、「良くなった」と「少し良くなった」を合計した『好評価』でみると、「町のイベント（花火大会、砂像展など）について」（合計 51.1%）が最も高く、次いで「町内での買い物しやすいお店について」（同 45.5%）、「芦屋町全体について」（41.1%）などの順となっている。特に「町のイベント（花火大会、砂像展など）について」は、およそ4人に1人の生徒が「良くなった」と回答している。



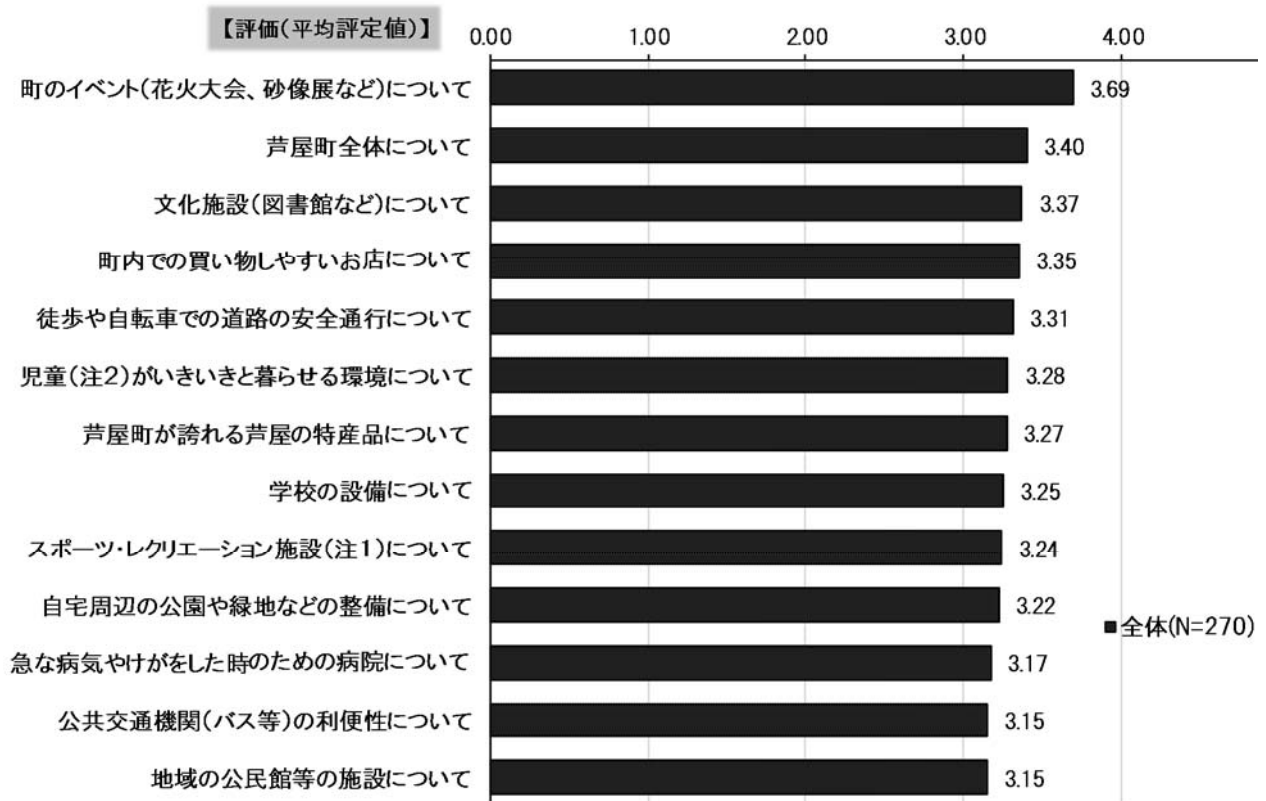
注1: 運動公園や各校区のグラウンドなど

注2: 保育園児・幼稚園児・小学生

しかし、「町内での買い物しやすいお店について」は『好評価』割合が高いものの、「少し悪くなった」と「悪くなった」を合計した『低評価』も、他の項目を上回っている。

そこで、評価をより明確に分析するために、次に平均評定値を用いた集計結果を示す。

次図は、芦屋町での暮らしに対する評価について、平均評定値*で示したものである。最も評価が高いのは「町のイベント（花火大会、砂像展など）について」（3.69）で、次いで「芦屋町全体について」（3.40）、「文化施設（図書館など）について」（3.37）、「町内での買い物しやすいお店について」（3.35）の順となっている。

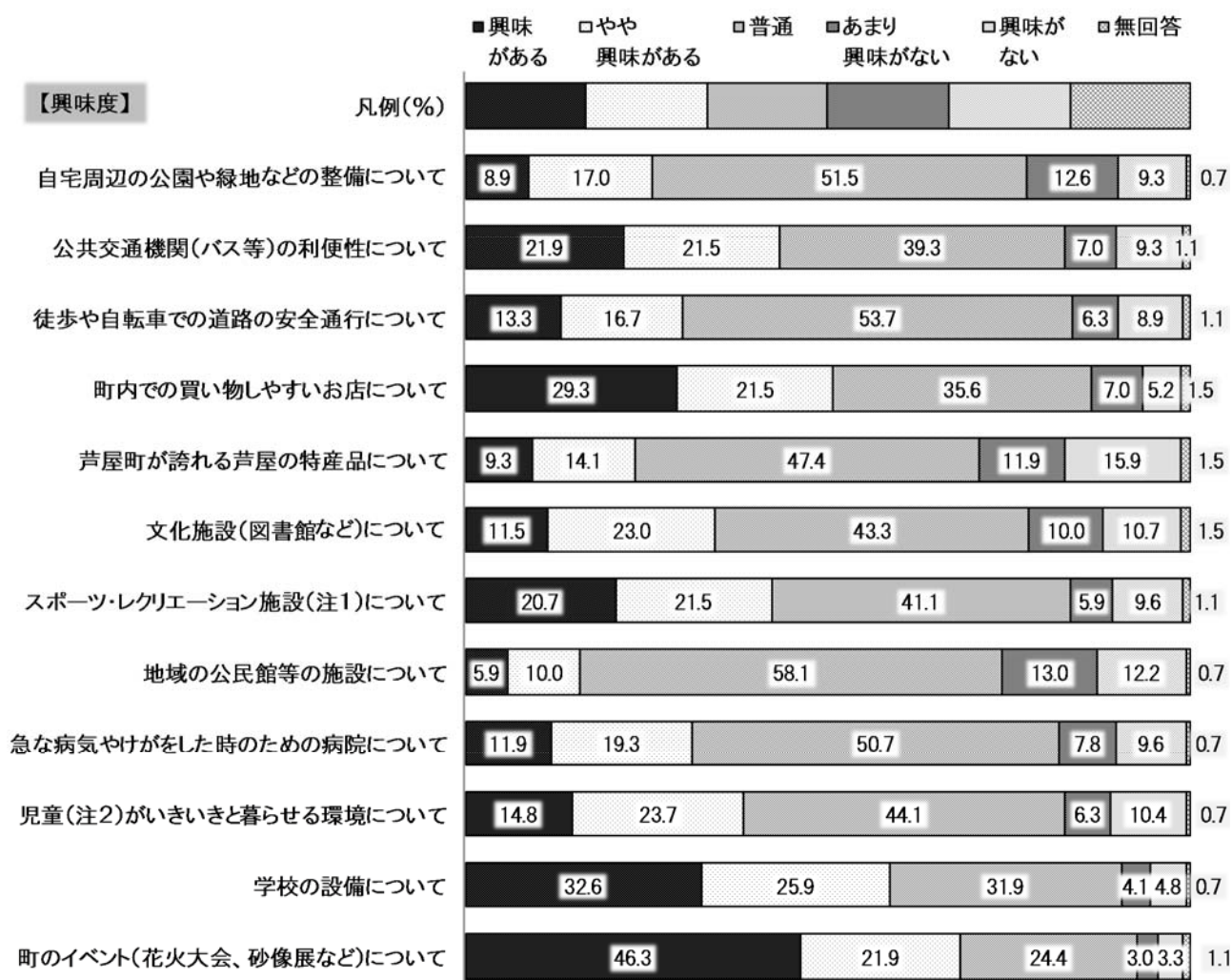


*平均評定値とは、「良くなった」に5点、「少し良くなった」に4点、「変わらない」に3点、「少し悪くなった」に2点、「悪くなった」に1点の係数(ウェイト)を設定し、項目ごとの回答結果を(「良くなった」の回答件数×5点+「少し良くなった」の回答件数×4点+「変わらない」の回答件数×3点+「少し悪くなった」の回答件数×2点+「悪くなった」の回答件数×1点)÷(回答者件数-無回答件数)として指標としている。この指標によって、「評価」の強弱を、より明確に分析することができる。5点に近いほど「好評価」、1点に近いほど「低評価」を示す。

(2) 興味度

芦屋町での暮らしに対する興味度について、「興味がある」への回答をみると、「町のイベント（花火大会、砂像展など）について」の割合が46.3%と最も高く、次いで「学校の設備について」（32.6%）、「町内での買い物しやすいお店について」（29.3%）が続き、以下「公共交通機関（バス等）の利便性について」（21.9%）、「スポーツ・レクリエーション施設について」（20.7%）の順となっている。

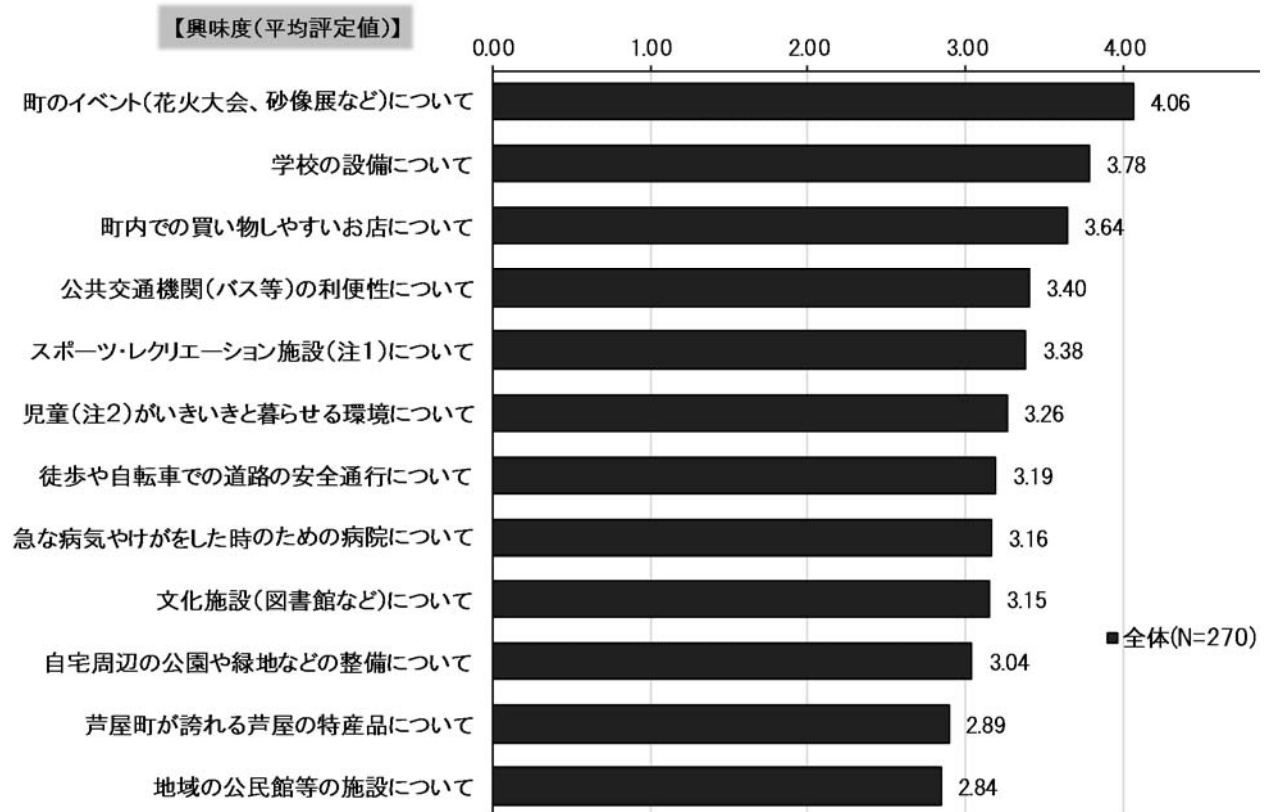
一方、「あまり興味がない」及び「興味がない」の合計では、「芦屋町が誇れる芦屋の特産品について」「地域の公民館等の施設について」「自宅周辺の公園や緑地などの整備について」などの割合が高くなっている。



注1: 運動公園や各校区のグラウンドなど

注2: 保育園児・幼稚園児・小学生

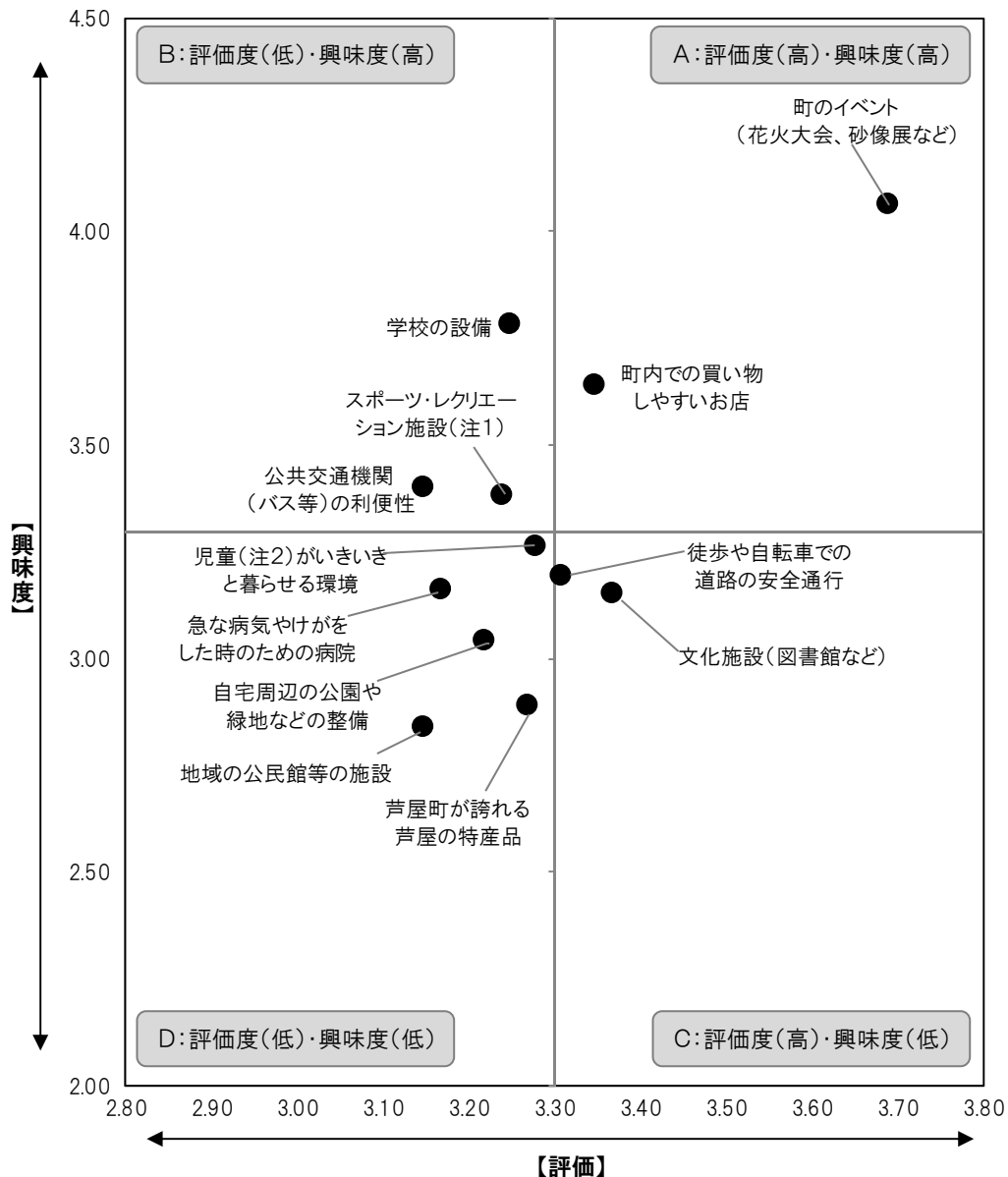
評価と同様に、興味度についても平均評定値による集計で見ると、最も高いものから順に「町のイベント（花火大会、砂像展など）について」「学校の設備について」「町内での買い物しやすいお店について」「公共交通機関（バス等）の利便性について」となっている。



(3) 評価と興味度の相関図による分析

次図は、「(1) 評価」と「(2) 興味度」それぞれの平均評定値をもとに、縦軸に興味度、横軸に評価を設定し、それぞれの項目を散布図上に相関図として示したものである。

Aの象限は、評価度が高く興味度も高い項目を示し、「町のイベント（花火大会、砂像展など）」などが該当する。評価度が低く興味度は高いBの象限には「学校の設備」など、評価度が高く興味度は低いCの象限には「文化施設（図書館など）」、評価度が低く興味度も低いDの象限には「地域の公民館等の施設」などがそれぞれ該当する。



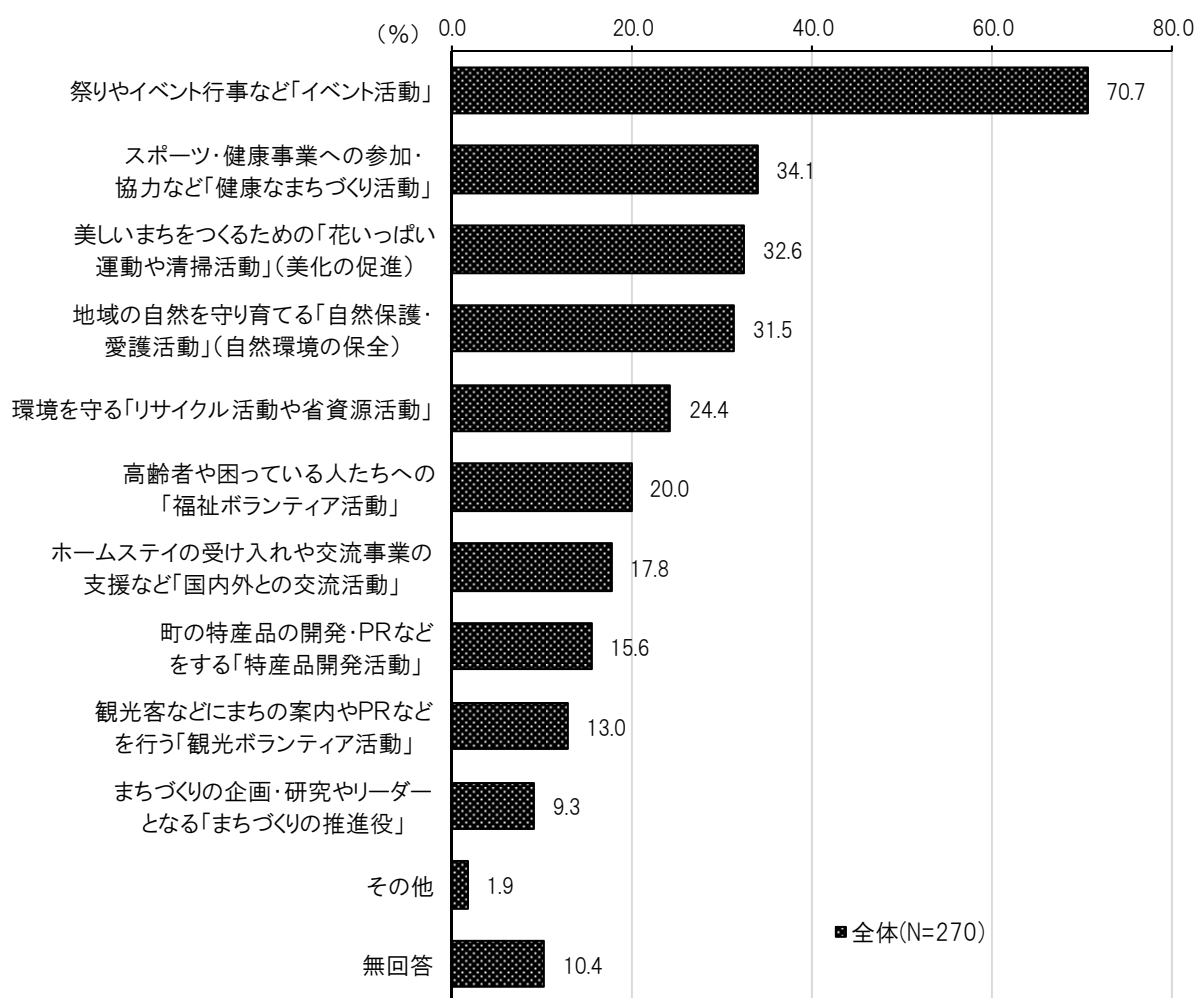
注1: 運動公園や各校区のグラウンドなど
 注2: 保育園児・幼稚園児・小学生

【3】 ボランティア活動について

1. 参加したいボランティア活動（問10）

問10 あなたは、ボランティア活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか？ 現在参加されているものも含め、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

参加したいボランティア活動は、「祭りやイベント行事などイベント活動」の割合が70.7%と突出して最も高くなっている。次いで「スポーツ・健康事業への参加・協力など健康なまちづくり活動」（34.1%）、ほぼ並んで「美しいまちをつくるための花いっぱい運動や清掃活動」（美化の促進）（32.6%）、「地域の自然を守り育てる自然保護・愛護活動」（自然環境の保全）」（31.5%）、以下「環境を守るリサイクル活動や省資源活動」（24.4%）の順となっている。



【4】キーワードについて

1. まちづくりに大事だと思う言葉（キーワード）（問11）

問11 芦屋町の今後のまちづくりを進めるうえで、どのような「言葉（キーワード）」が大事だと思いますか？5つ以内で○印をつけてください。

まちづくりに大事だと思う言葉（キーワード）は、「安心・安全」の割合が57.0%と半数を超えて最も高く、ほぼ並んで「便利さ」が54.8%と高くなっている。次いで「楽しさ」（48.5%）、「快適さ」（42.6%）が続き、以下「経済的豊かさ」（30.0%）、「自然の豊かさ」（29.6%）の順となっている。

